

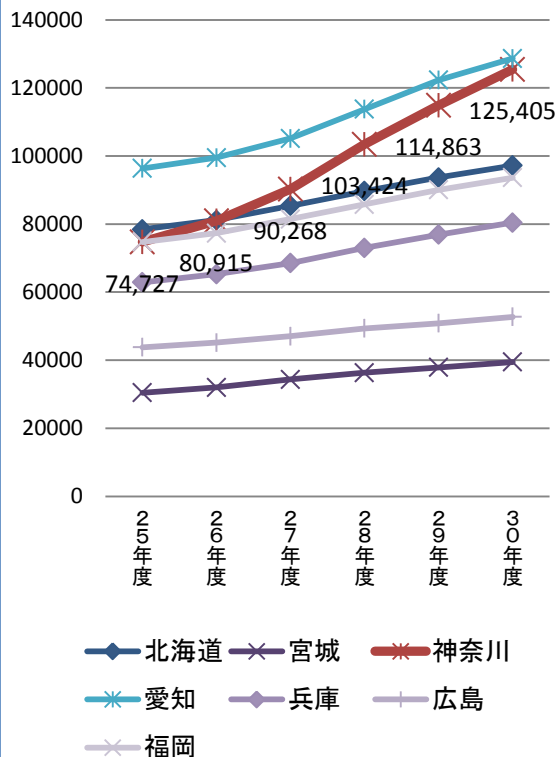
# 神奈川支部の概況と主な取り組み

# 1. 適用等

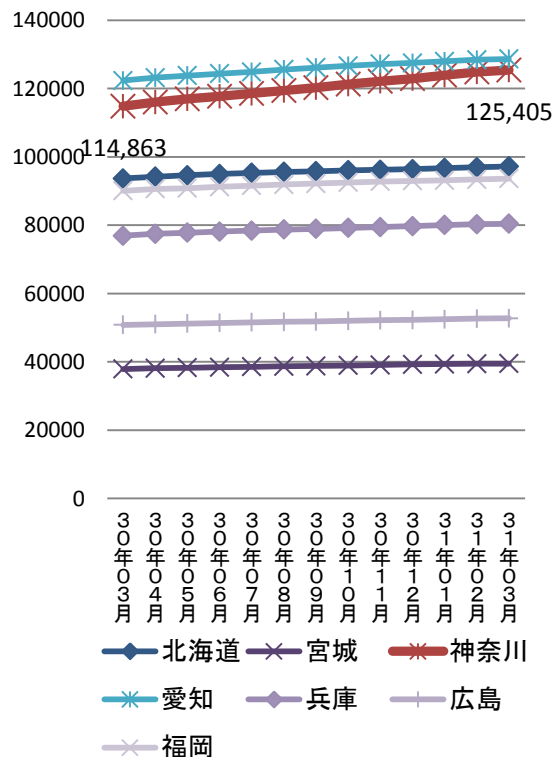
## (1) 適用事業所数

- ・神奈川支部の適用事業所数は、平成27年度以降、年間約1万社のペースで増加。
- ・平成30年度の増加率は、9.2%で、千葉支部(9.3%)に次いで全支部中2番目の伸び。
- ・平成25年度から30年度までの伸びは1.68倍で、全支部中2番目の伸び。

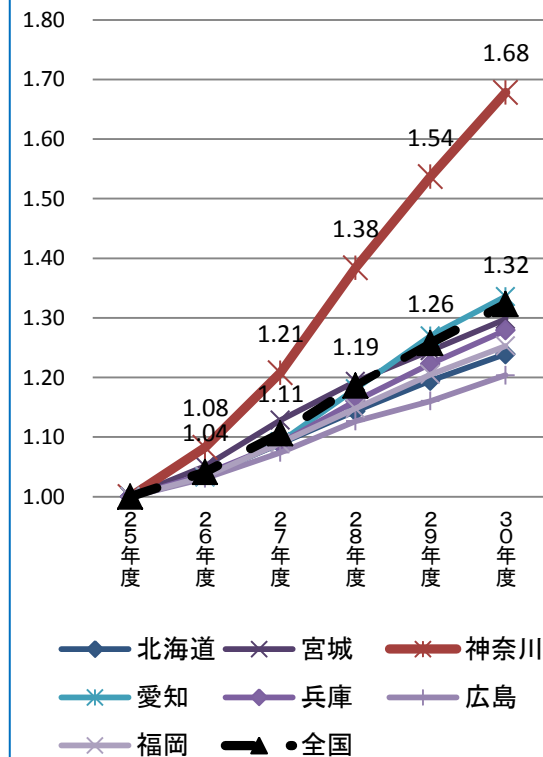
### 適用事業所数 (各年度末)



### 適用事業所数 (各月末)



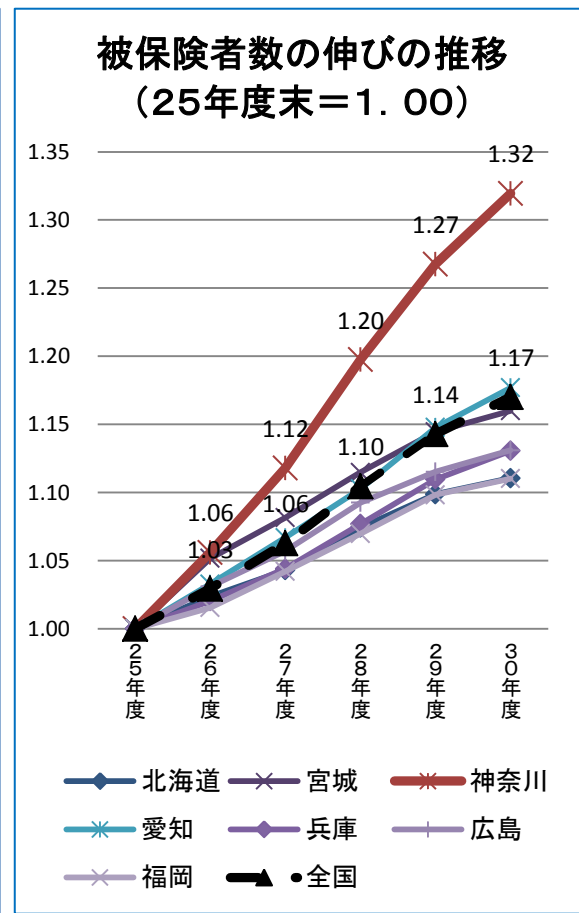
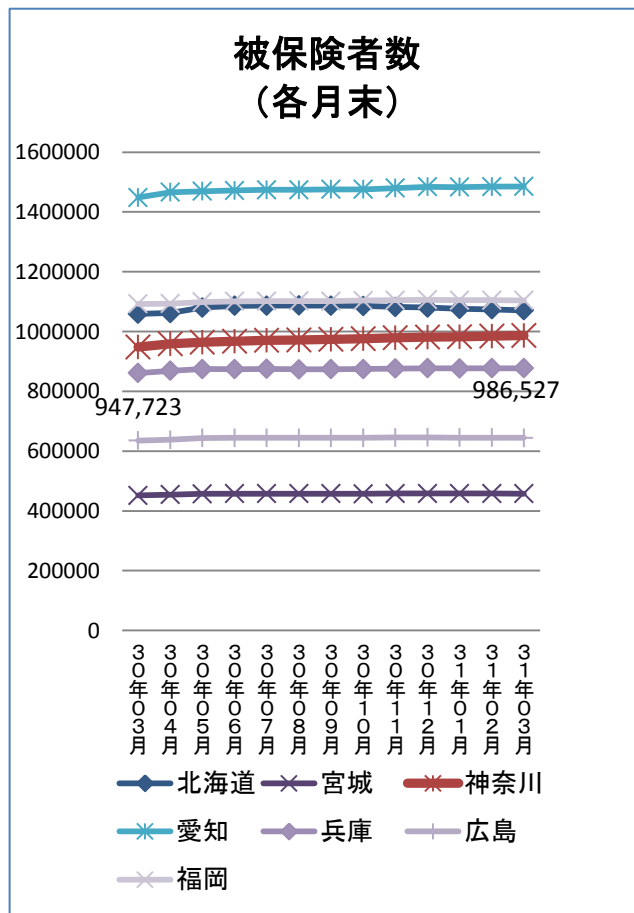
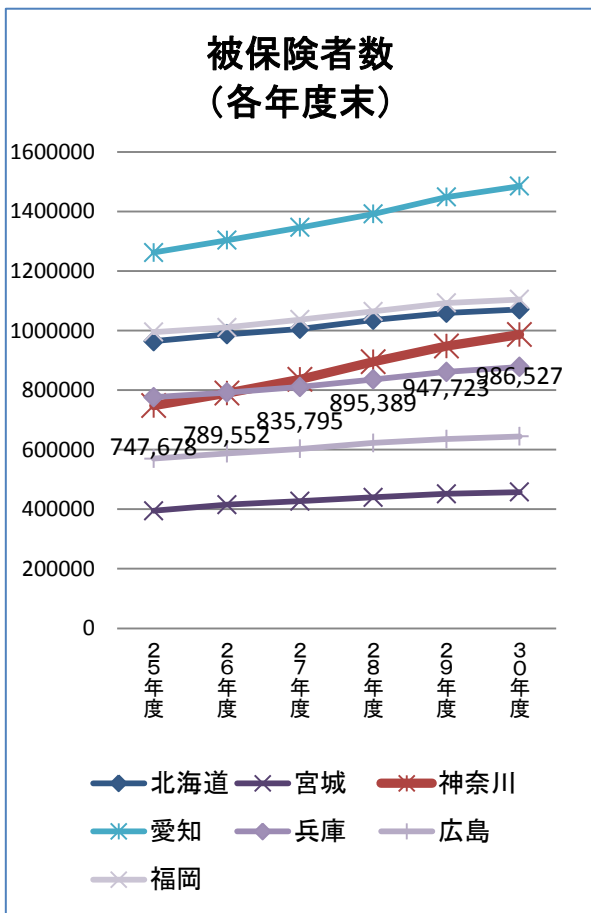
### 適用事業所数の伸びの推移 (25年度末=1.00)



# 1. 適用等

## (2) 被保険者数

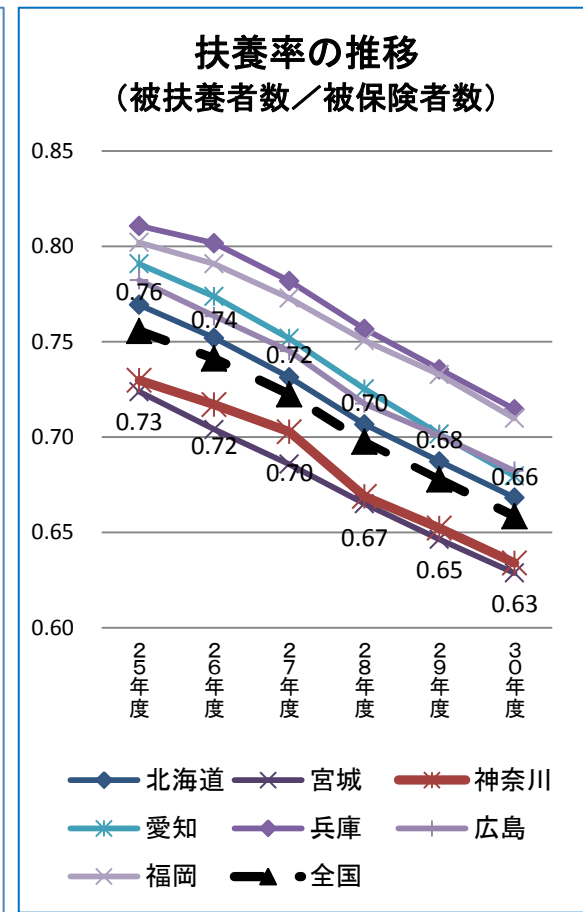
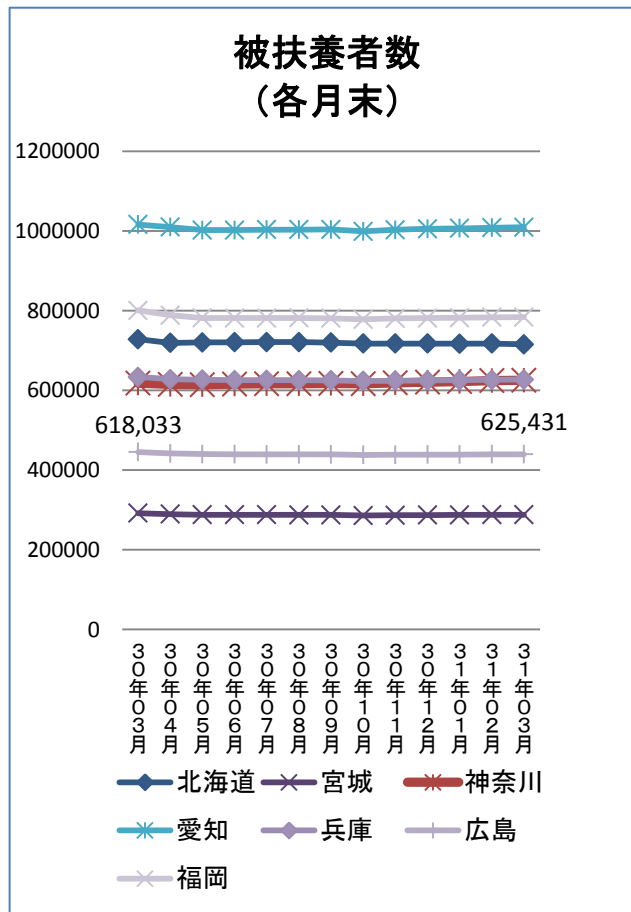
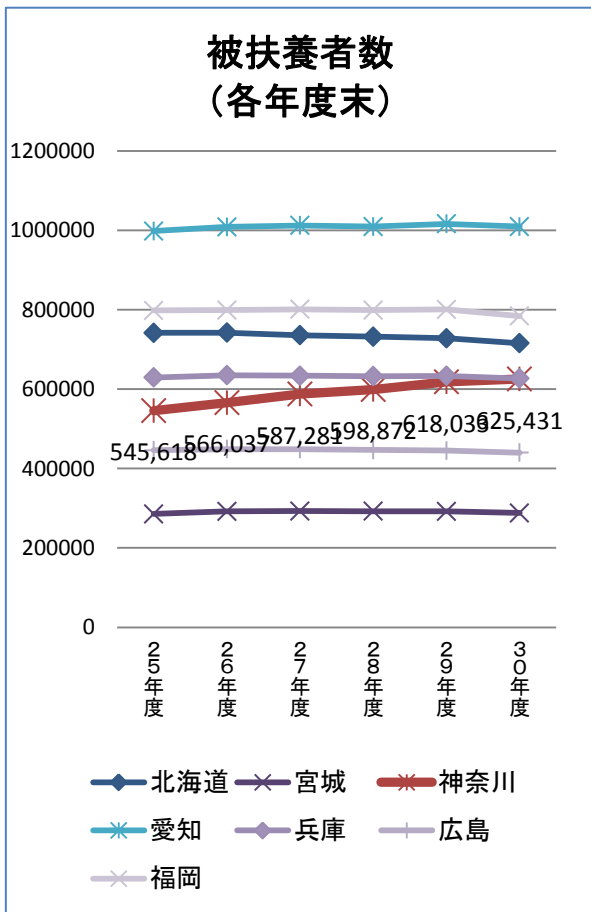
- ・神奈川支部の被保険者数は、平成26年度以降、年間4～6万人のペースで増加。
- ・平成30年度の増加率は、4.1%で、東京支部(5.4%)に次いで全支部中3番目の伸び。
- ・平成25年度から30年度までの伸びは1.32倍で、全支部中3番目の伸び。



# 1. 適用等

## (3) 被扶養者数・扶養率

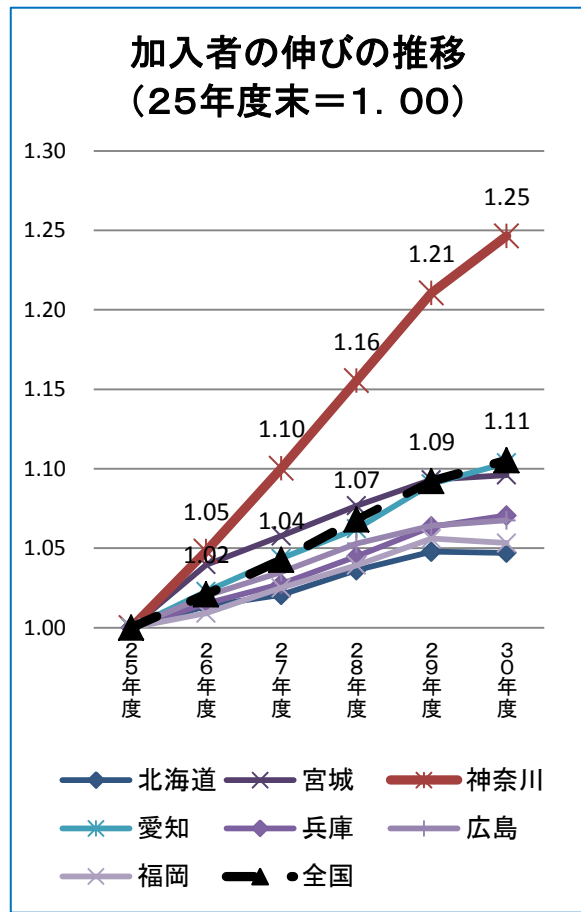
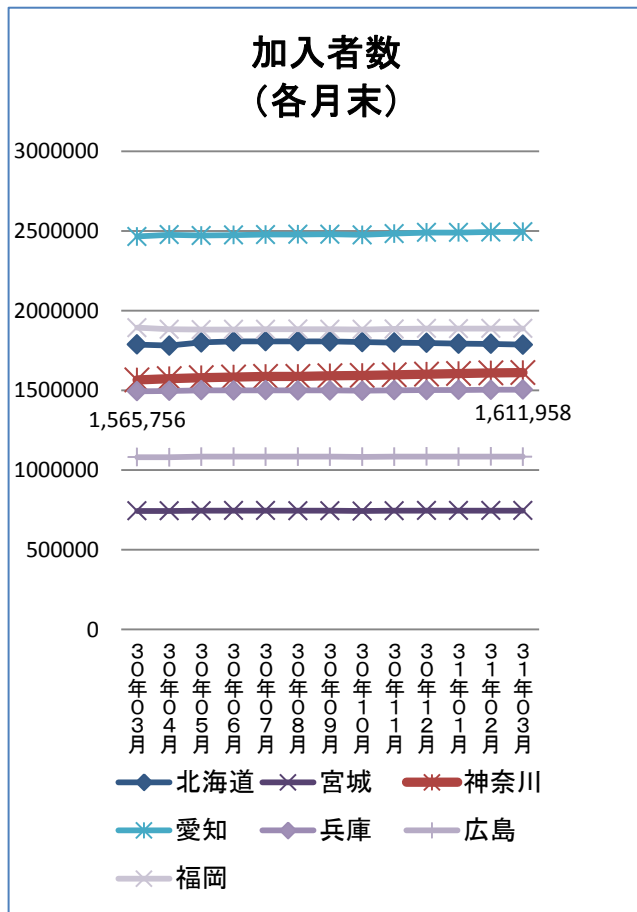
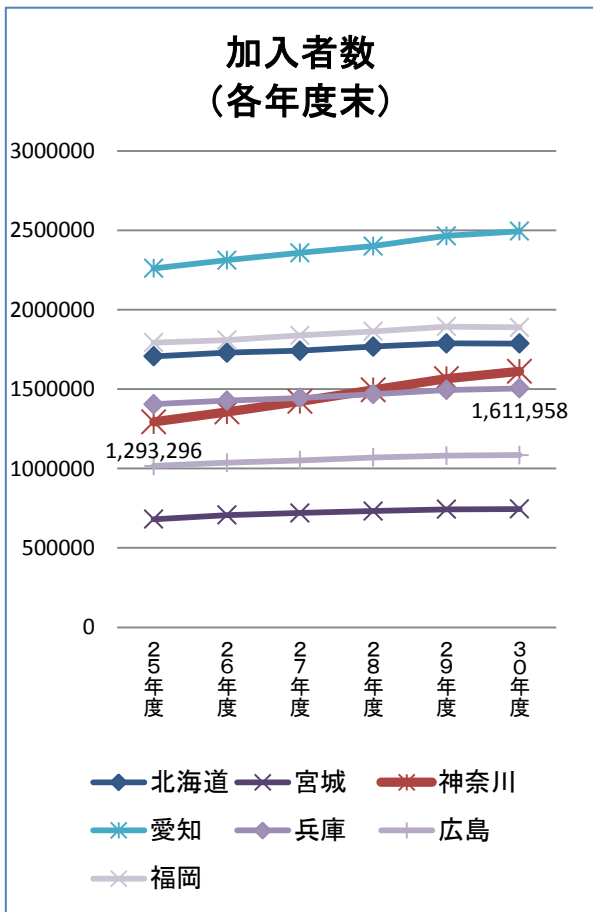
- ・平成25年度以降の神奈川支部の被扶養者数は大幅増(全国計の被扶養者数は扶養率の低下もあり横ばい)。
- ・神奈川支部の被扶養率は、全国平均を約0.03下回って推移。全国平均と同様、年々低下傾向。



# 1. 適用等

## (4) 加入者数

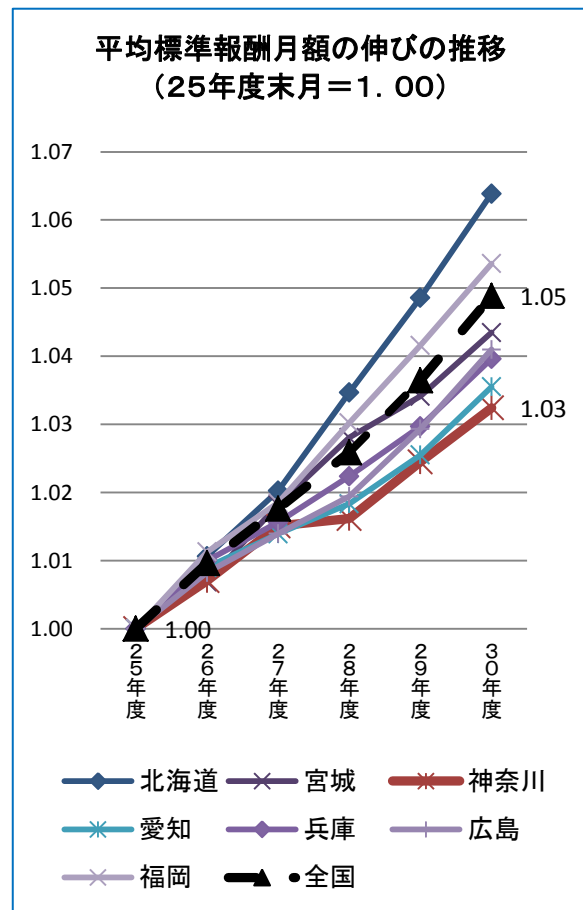
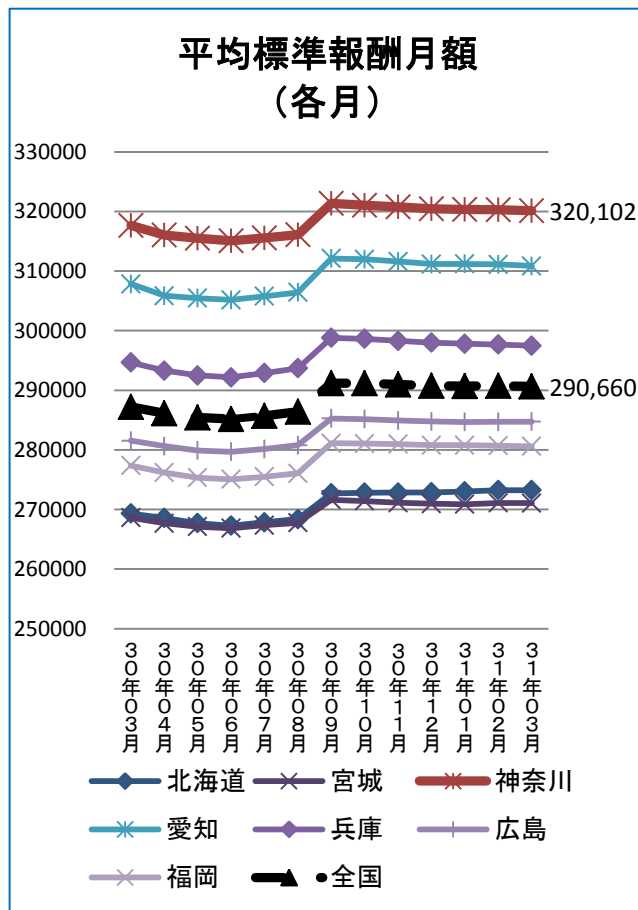
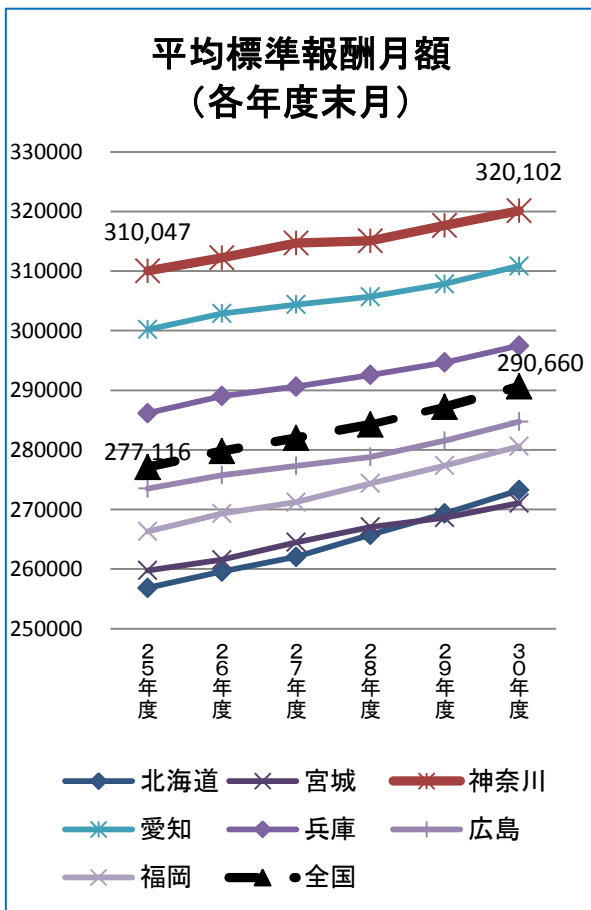
- ・神奈川支部の加入者数は、平成26年度以降、毎年度6~7万人のペースで増加。
- ・平成30年度の増加率は、やや鈍化。
- ・平成25年度から30年度までの伸びは1.25倍で、全支部中3番目の伸び。



# 1. 適用等

## (5) 平均標準報酬月額

- ・神奈川支部の被保険者の平均標準報酬月額は、全国平均を約3万円(約10%)上回って推移。
- ・平成25年度から30年度までの伸びは全国平均を下回っている。



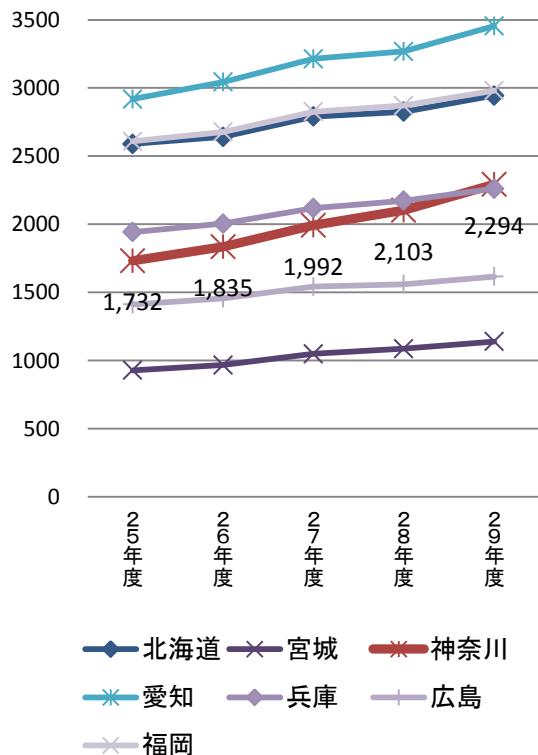
## 2. 給付等

### (1) 保険給付費(医療給付費+その他の現金給付費)

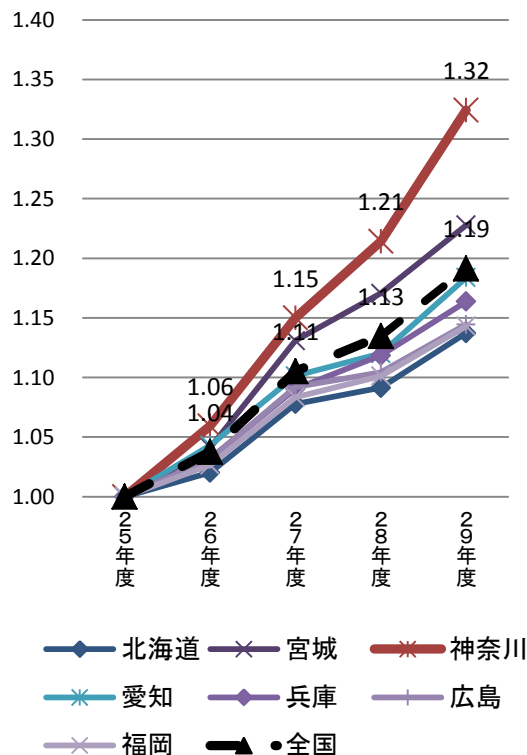
・神奈川支部の保険給付費は、加入者の増加もあり全国平均を上回る伸び。

ただし、全国平均は、加入者数の伸び1.09倍に対する保険給付率の伸びが1.19倍であるのに対して、神奈川支部は、加入者数の伸び1.21倍に対する保険給付率の伸びは1.32倍にとどまっている。

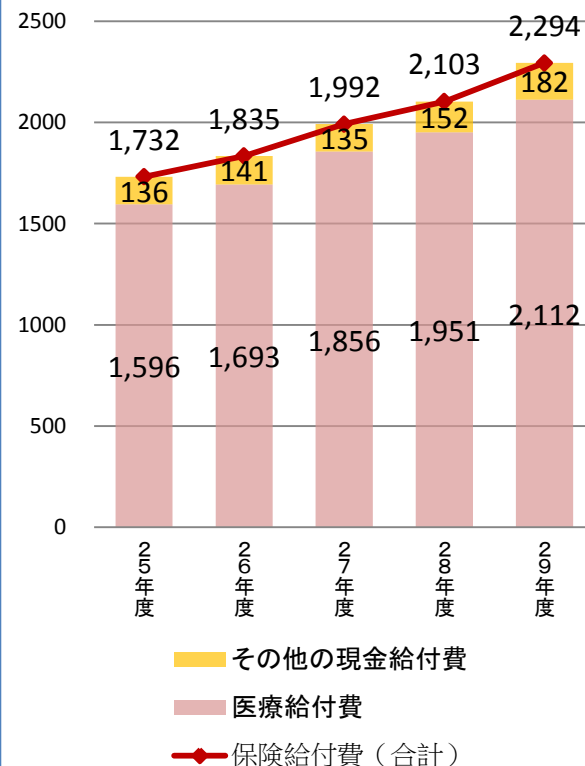
保険給付費  
(各年度、単位:億円)



保険給付費増加率  
(25年度=1.00)



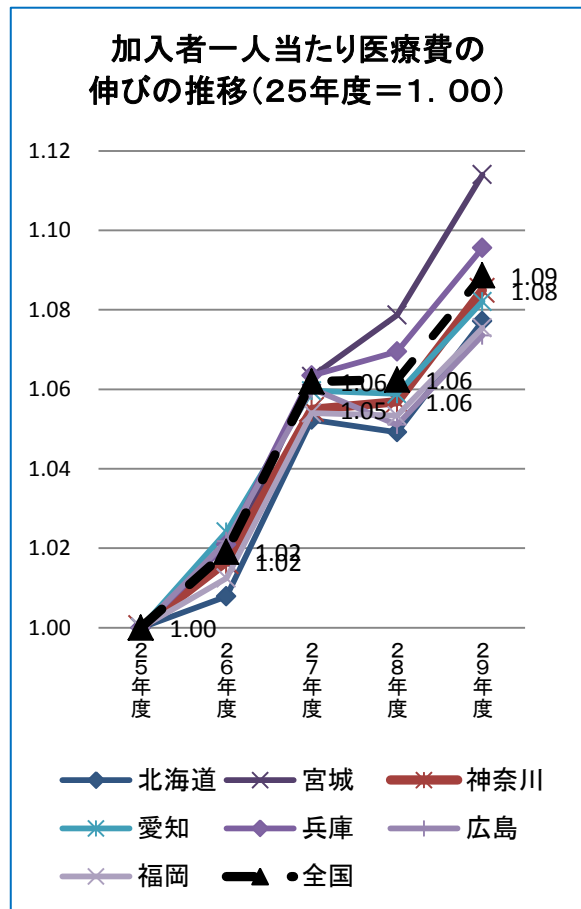
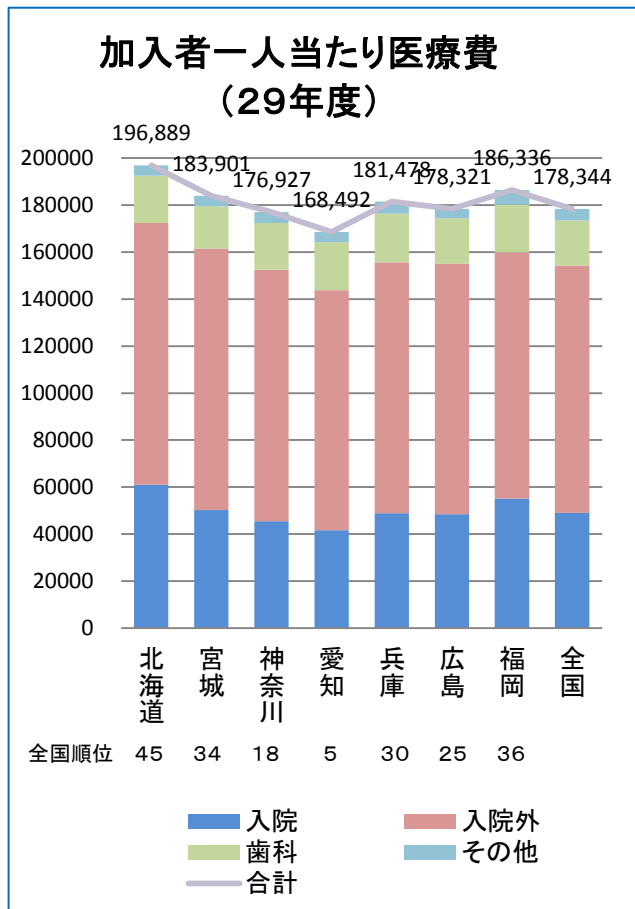
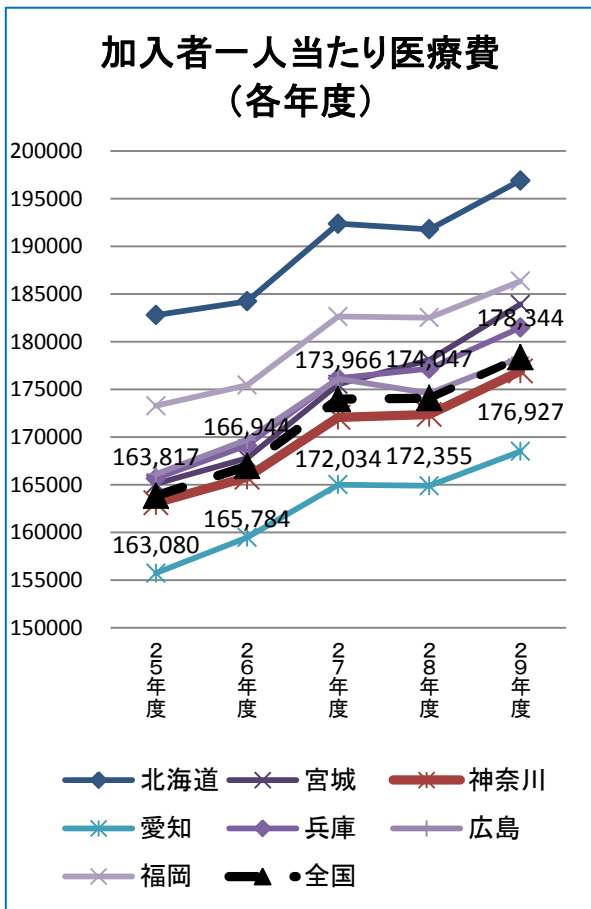
神奈川支部保険給付費内訳の推移  
(各年度、単位:億円)



## 2. 給付等

### (2) 加入者一人当たり医療費①

- ・加入者一人当たり医療費は、右肩上がりで増加している。
- ・神奈川支部の平成29年度の加入者一人当たり医療費は、197,927円で47支部中、低いほうから18番目。
- ・神奈川支部の加入者一人当たり医療費の伸び(1.08)は、全国平均(1.09)を若干下回って推移。



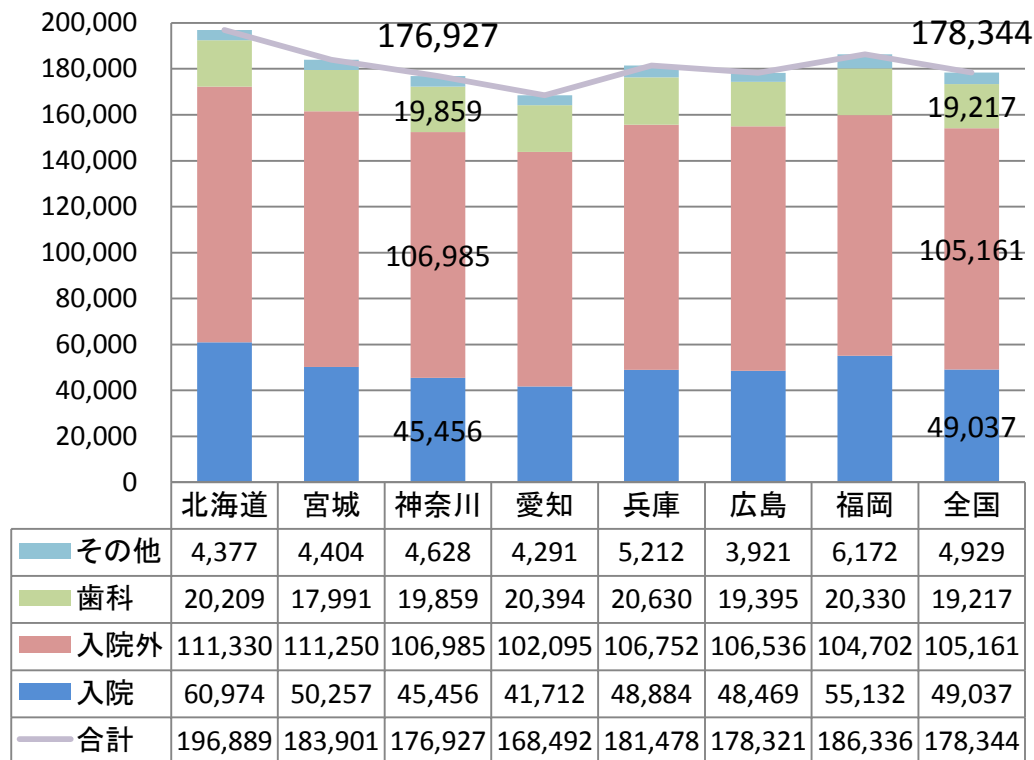


## 2. 給付等

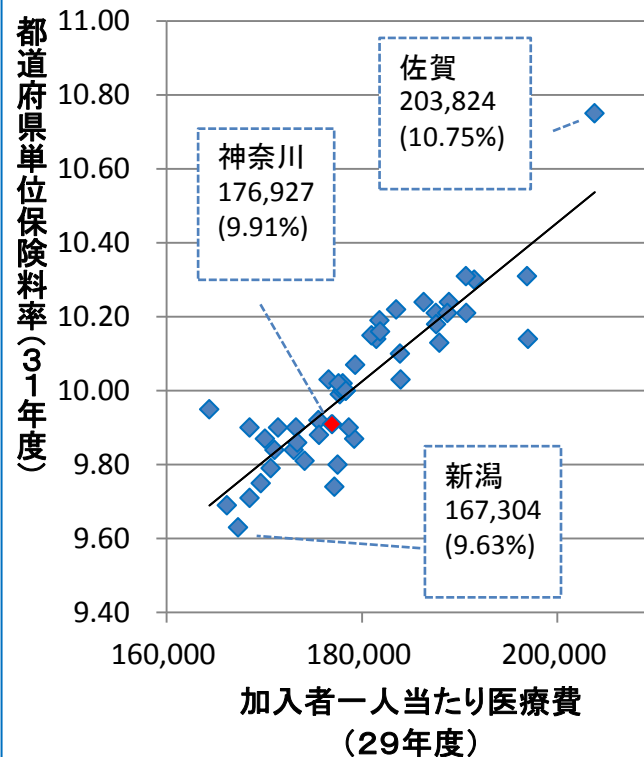
### (2) 加入者一人当たり医療費②

- ・神奈川支部の平成29年度の加入者一人当たり医療費(全国18位)は全国平均を下回っている。内訳を見ると、入院(8位)は全国平均を下回っている一方、入院外(37位)および歯科(29位)は全国平均を上回っている。
- ・支部ごとの加入者一人当たり医療費と保険料率には、強い相関関係がある(相関係数=0.88)。

加入者一人当たり医療費【内訳】  
(29年度)



加入者一人当たり医療費と  
保険料率の関係



### 3. 神奈川支部の取り組み

## (1) 平成31年度(令和元年度)のKPIと達成状況①

### ① 基盤的保険者機能関係

項目	KPI	目標値	実績値(時点)
効果的なレセプト点検の推進	支払基金と合算したレセプト点検の査定率	前年度(0.411%)以上	0.393%(8月)
柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合	前年度(1.18%)以下	1.20%(8月)
返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	94.0%以上	92.54%(8月)
	返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率	前年度(59.49%)以上	25.19%(8月)
	医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合	前年度(0.119%)以下	0.128%(8月)
サービス水準の向上	サービススタンダードの達成状況	100%	100%(6月)
	現金給付等の申請に係る郵送化率	90.0%以上	92.05%(8月)
限度額適用認定証の利用促進	高額療養費制度に占める限度額認定証の使用割合	87.6%以上	85.4%(6月)
被扶養者資格の再確認の徹底	被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率	89.0%以上	本年度は9月末より順次発送予定
オンライン資格確認の導入に向けた対応	現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配布した医療機関における利用率	53.8%以上	54.2%(8月)

### 3. 神奈川支部の取り組み

## (1) 平成31年度(令和元年度)のKPIと達成状況②

### ②戦略的保険者機能関係

項目	KPI	目標値	実績値(時点)
特定健診受診率・事業所健診データ取得率の向上	特定健診受診率	49.0%	【進捗率】 42.8% 42.9% 38.6%
	・生活習慣病予防健診実施率	・53.3%	
	・事業者健診データ取得率	・2.8%	
	・被扶養者の特定健診受診率	・22.0%	
特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導実施率	14.5%	5.4%(9月) 【進捗率】 37.2%
重症化予防対策の推進	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	12.0%以上	8.6%(9月)
広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解推進	広報活動における加入者理解率	前年の平均値37.2%以上	11月頃に本部から示される予定
	全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者の割合	35.1%以上	43.0%(9月)
ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品使用割合 (※今年度より、医科、DPC、歯科、調剤レセプトを集計した使用割合)	78.1%以上	75.6%(5月)
医療データの分析に基づく地域の医療供給体制への働きかけ	地域医療構想調整会議への被用者保険の参加率	100%	100%(9月)
	「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信	意見発信	実施済(9月)
経費の節減等の推進	一般競争入札に占める一者応札案件の割合	前年度(46.7%)以下	41.7%(9月)

### 3. 神奈川支部の取り組み

## (2) KPI達成等に向けた主な取り組み(前回評議会以降)

項目	主な取り組み(前回評議会以降)
柔道整復施術療養費等の照会業務の強化	請求内容に疑義のある施術所に対して注意喚起を促す文書を送付(9月～) ・多部位頻回の請求割合が高い8施術所に対して送付 柔整審査会による疑義のある施術所の呼び出し(9月) ・部位ころがしの疑いのある2施術所に対して面接確認を実施
特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	新規適用事業所への文書および電話による受診勧奨 ・約6,000件勧奨文書送付(6月～9月) ・約2,300件電話勧奨実施(7月～9月) 被扶養者を対象とした2サイクルの集団健診(①10～12月、②1～3月) ・1サイクル目として9月に約140,000件勧奨文書送付 ・申し込み件数 8,126件 一括委託による事業者健診データの取得勧奨(6月～) ・約6,000件勧奨文書送付(6月～9月に各月約1,500件送付) ・同意書取得件数 1,257件
重症化予防対策の推進	未治療者に対する委託による電話勧奨(4月～) ・9月時点で約2,000件実施(目標4,000件)
広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解推進	健康保険料率およびインセンティブ制度に関する広報(10月～) ・保険料率Q&A、GE・健診・インセンティブの行動変容チラシを作成。10月から順次実施する社会保険事務講習会にて配布

### 3. 神奈川支部の取り組み

## (2) KPI達成等に向けた主な取り組み(前回評議会以降)

項目	主な取り組み(前回評議会以降)
広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解推進	<p>健康保険委員向けセミナーの開催(9~10月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・横浜市(236名)、川崎市(115名)、藤沢市(69名)、相模原市(46名)の4か所で実施</li></ul>
	<p>健康保険委員の委嘱拡大に向けた勧奨(7~10月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・未委嘱事業所向けに勧奨文書送付</li><li>・規模の大きい事業所への訪問による勧奨</li><li>・9月末の委嘱者数は8,294人であり、6月末からの増加数は2,093人</li></ul>
	<p>協会けんぽメールマガジン会員の募集(7~10月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・募集チラシを事業所訪問の際に持参し勧奨したほか、事業所向けおよび加入者向け郵送物に同封し勧奨</li><li>・7月~9月の新規登録件数は1,140件</li></ul>
	<p>職員による大規模事業所の訪問</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・被保険者の多い事業所を訪問し、協会けんぽの事業説明および各種事業への協力依頼を実施</li><li>・6月~9月の間に26事業所へ訪問</li></ul>
ジェネリック医薬品の使用促進	<p>ジェネリック医薬品軽減額通知の送付(8月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、負担軽減額が一定額(医科500円、調剤50円)以上見込まれる約167,000の加入者に、1ヶ月分の自己負担額軽減可能額等をお知らせ</li></ul>

### 3. 神奈川支部の取り組み

## (2) KPI達成等に向けた主な取り組み(前回評議会以降)

項目	主な取り組み(前回評議会以降)
ジェネリック医薬品の使用促進	<p>ジェネリック医薬品軽減額通知の送付(9月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・15歳以下の約14,000の加入者を対象として、自己負担額の有無に応じ2種類のお知らせを送付(別紙1、2参照)</li></ul>
その他	<p>県・市および協会けんぽ合同打ち合わせ会議の開催(8月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・神奈川県、横浜市、川崎市、藤沢市、相模原市の健康づくり担当課職員が出席</li><li>・健康保険委員研修会の開催(令和元年9~10月)について協議</li><li>・かながわ健康企業宣言の実施状況を報告</li></ul> <p>かながわ健康企業宣言への参加募集(8~9月)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・健康保険委員を委嘱済みで一定の被保険者がいる事業所へ案内送付</li><li>・9月末までに900事業所へ送付</li><li>・8~9月に参加事業所が38件増加</li></ul>

## 適用等(神奈川支部のデータ)

### 令和元年度

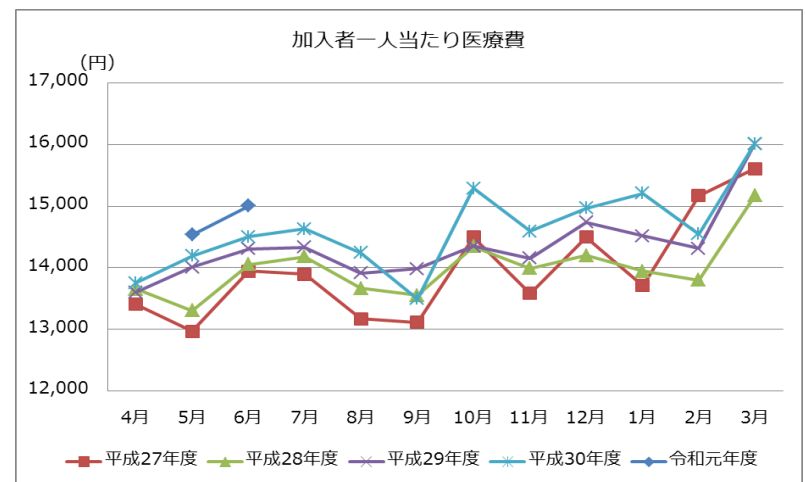
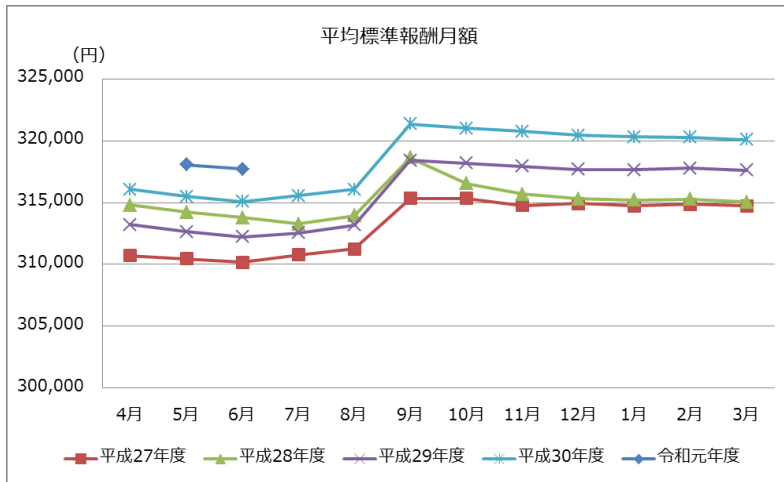
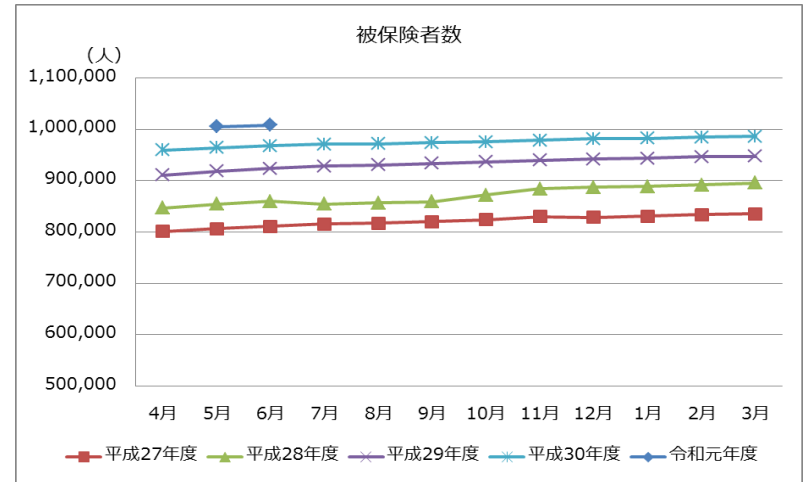
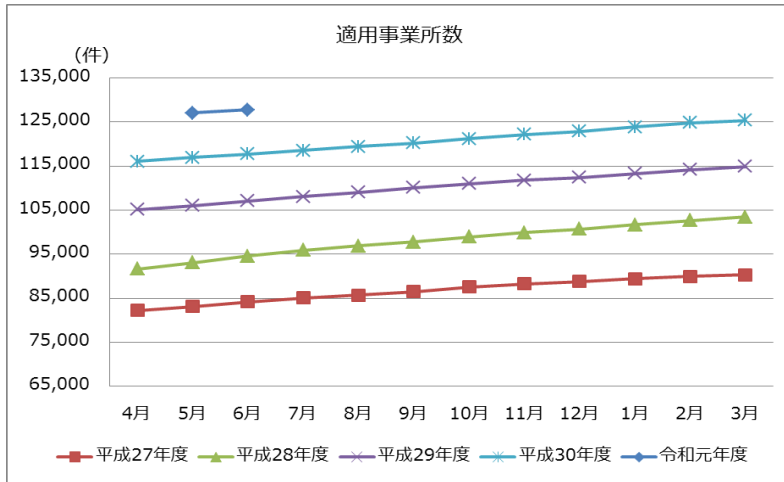
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適用事業所数		127,080	127,771									
被保険者数		1,005,317	1,008,238									
被扶養者数		622,648	623,458									
平均標準報酬月額		318,057	317,732									
加入者一人当たり 医療費(円)		14,534	15,004									

### 年度推移

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
適用事業所数	66,798	68,564	69,007	69,629	70,255	72,875	78,266	86,728	98,067	110,240	120,780
被保険者数	673,150	682,517	693,688	698,376	710,443	738,734	773,698	821,240	871,044	933,464	974,875
被扶養者数	494,788	501,136	516,429	515,958	520,645	535,112	553,336	575,159	587,970	608,257	618,551
平均標準報酬月額	—	—	—	309,169	308,798	309,189	311,097	313,173	315,149	315,762	318,552
加入者一人当たり 医療費(円)	—	—	—	159,309	160,804	163,080	165,784	172,034	172,458	176,927	180,118

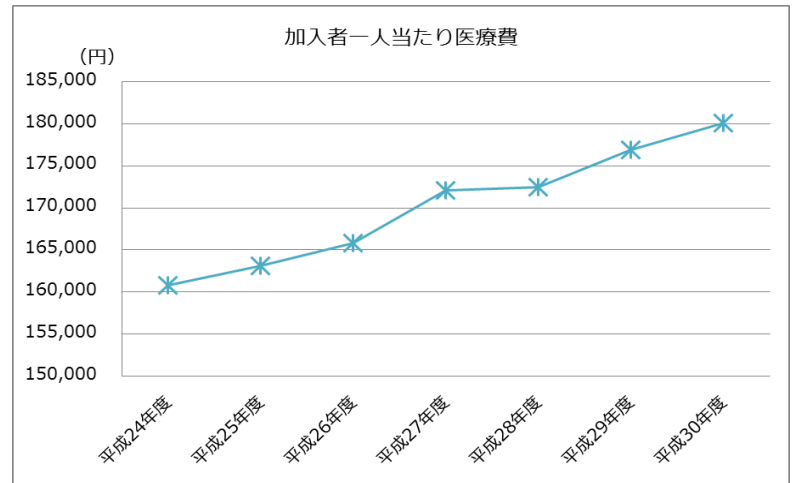
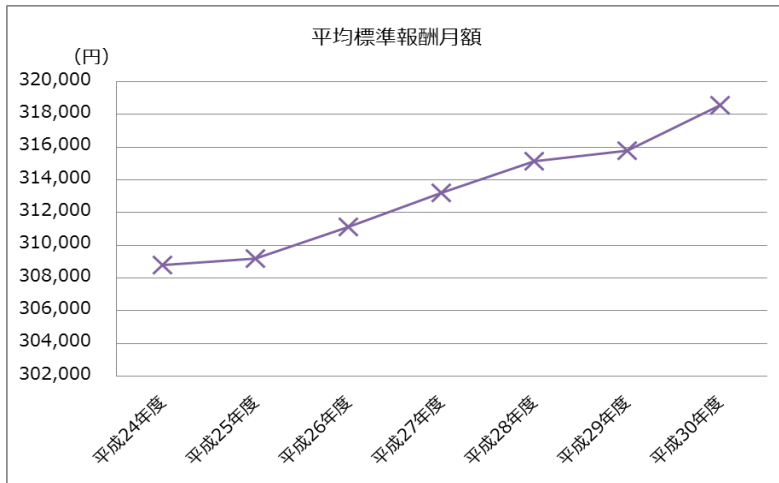
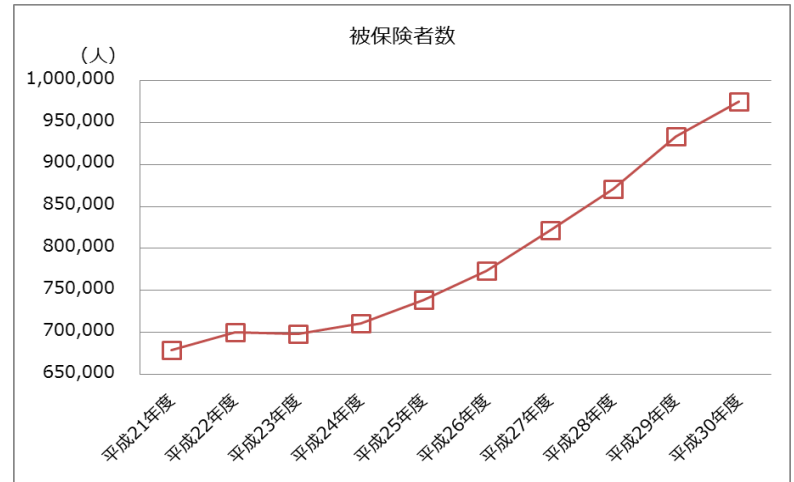
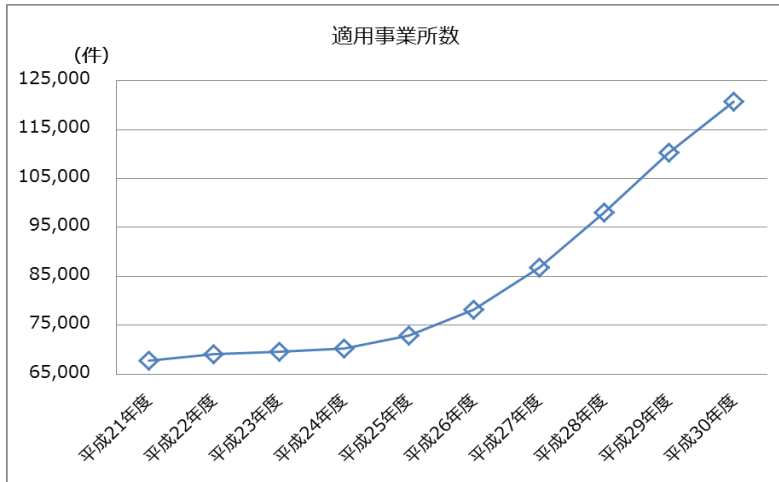
※平成20年度から22年度までは年度末時点、平成23年度以降は年度平均

# 神奈川支部 適用の状況(月別)





# 神奈川支部 適用の状況(年度別)



# 給付等(神奈川県支部のデータ)

令和元年度

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現物給付		18,496,690	19,125,064									
現金給付		1,927,801	1,864,578									
入院時食事・生活療養費 (差額支給)		2	19									
療養費		236,861	269,272									
移送費		255	0									
高額医療費		88,735	127,965									
傷病手当金		857,015	783,446									
埋葬料		6,050	6,750									
出産育児一時金		487,852	462,764									
出産手当金		251,032	214,363									

年度推移

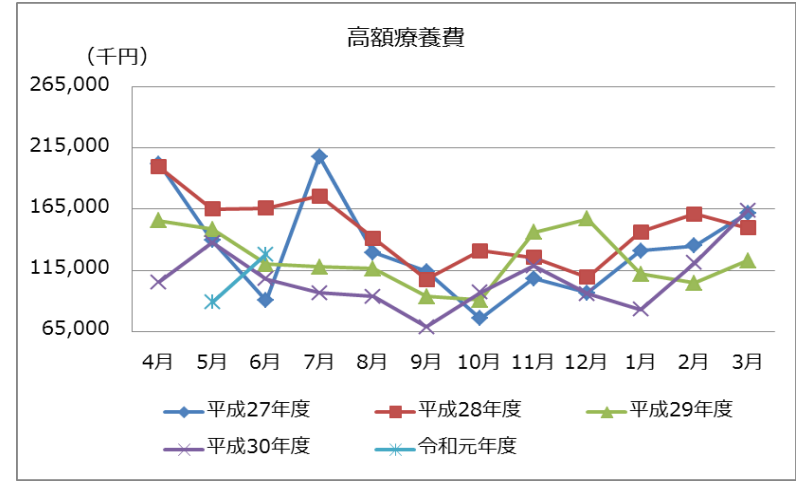
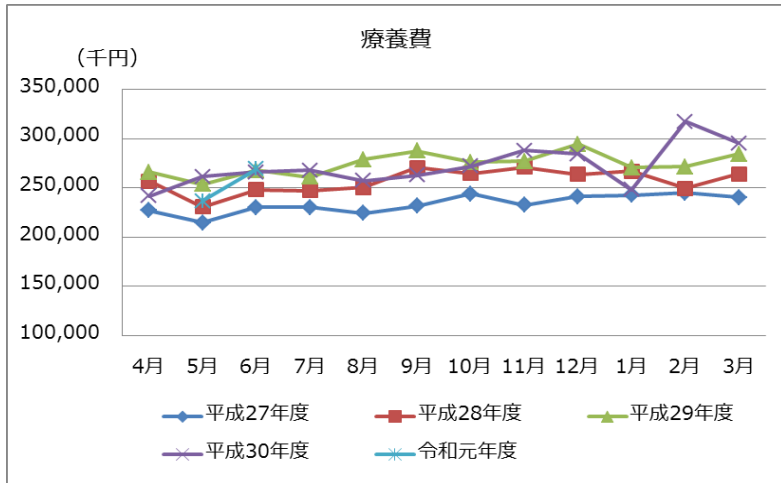
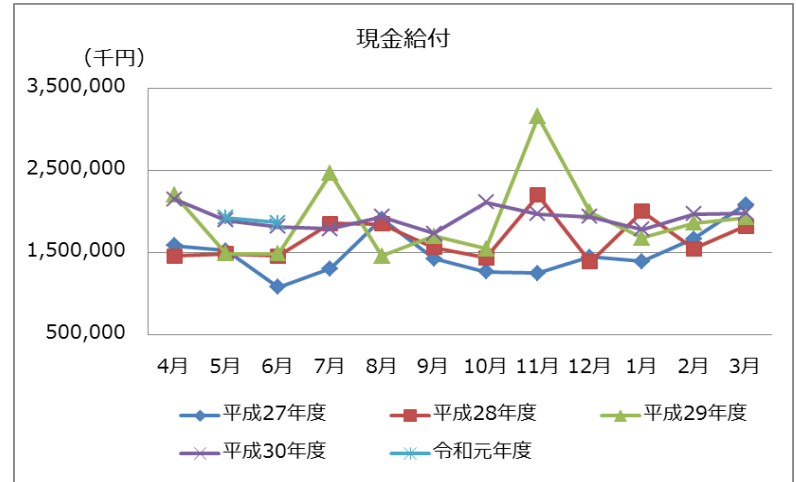
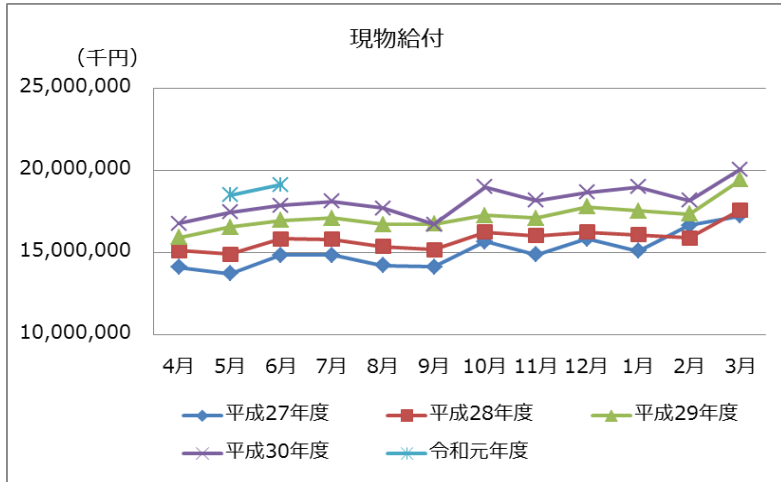
(千円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
現物給付	130,166,018	131,751,385	140,799,003	143,574,673	147,582,465	155,490,177	164,783,386	181,230,118	190,262,067	206,414,526	217,681,803
現金給付	16,436,197	18,231,286	18,579,331	17,855,432	17,538,557	17,699,138	18,667,838	17,938,221	20,053,705	22,950,283	23,065,515
療養費	2,000,621	2,209,792	2,294,841	2,369,137	2,431,397	2,543,073	2,773,187	2,803,873	3,083,579	3,288,132	3,261,507
高額療養費	2,058,436	2,728,962	2,333,021	2,221,256	1,915,973	1,557,005	1,774,624	1,592,392	1,778,472	1,485,405	1,289,349
傷病手当金	6,369,539	6,844,072	6,854,599	6,283,524	6,090,371	6,324,798	6,565,260	6,912,038	7,557,572	8,348,549	9,349,430
埋葬料	89,125	63,289	78,900	69,342	73,490	69,330	72,759	71,520	76,686	78,650	79,508
出産育児一時金	4,739,330	5,139,850	5,657,130	5,461,155	5,501,554	5,543,371	5,637,106	4,452,720	5,308,204	7,295,320	6,487,896
出産手当金	1,177,992	1,245,138	1,360,715	1,450,282	1,525,770	1,661,397	1,844,769	2,105,498	2,248,342	2,453,802	2,597,070

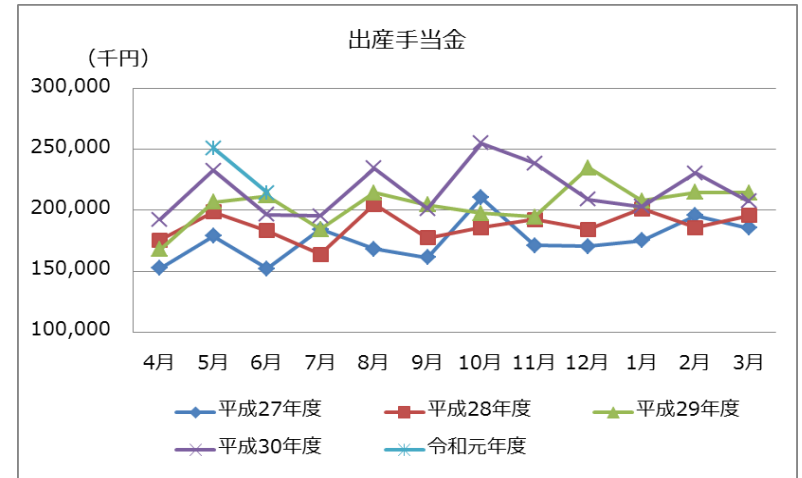
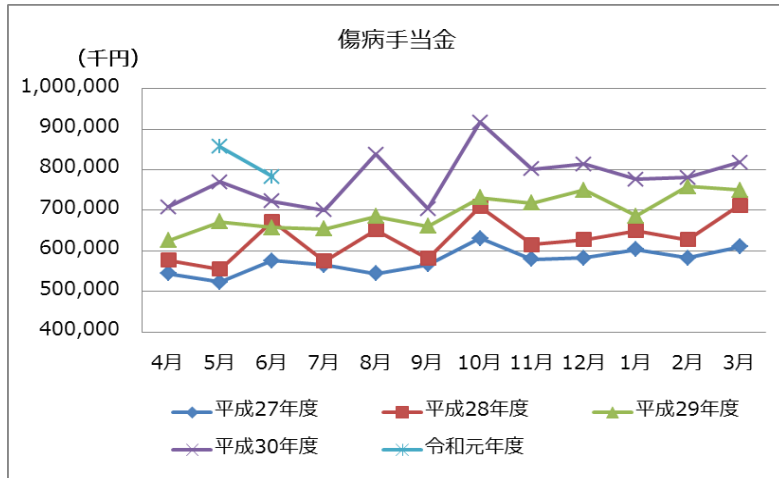
2019/10/24

©全国健康保険協会神奈川県支部

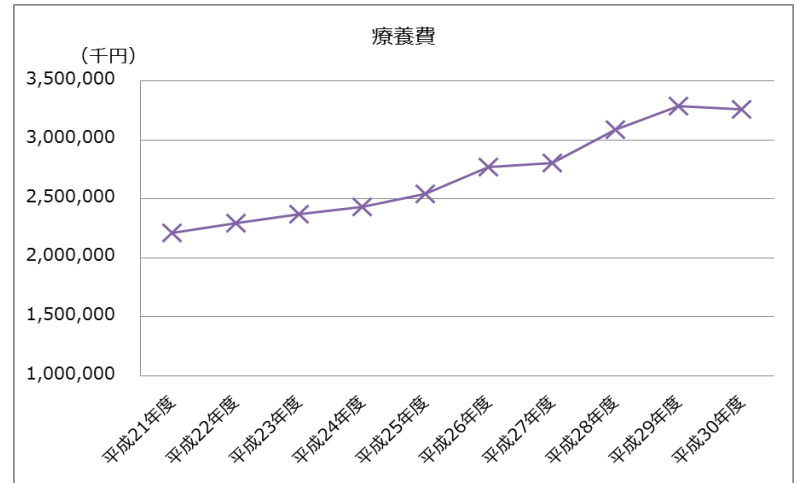
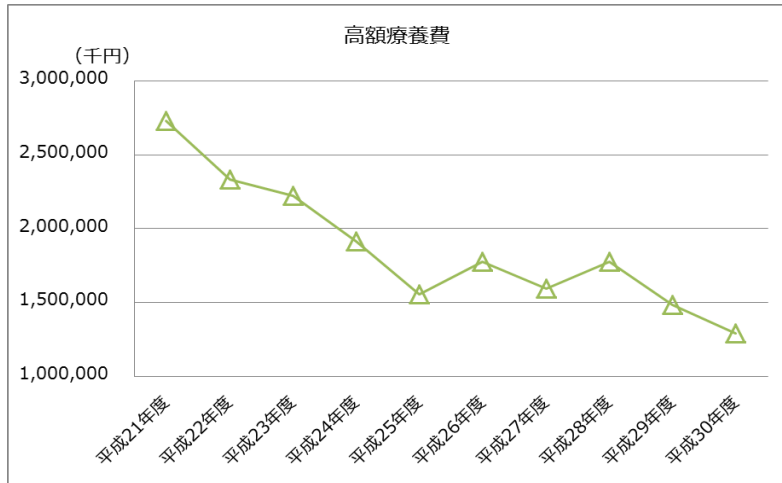
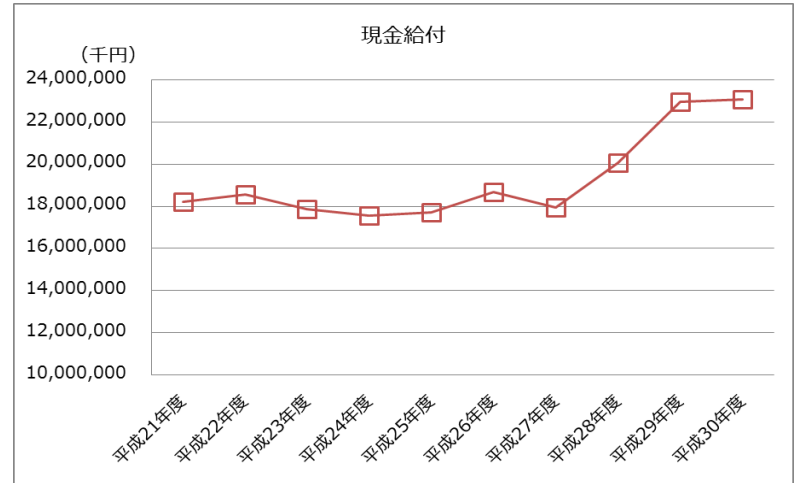
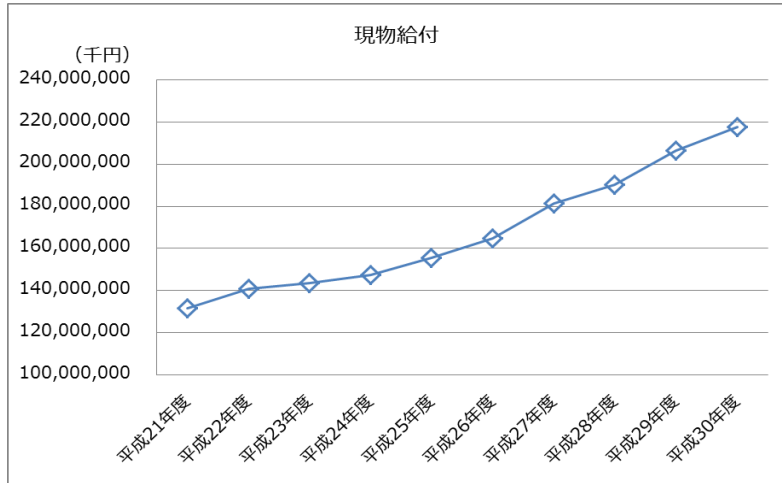
# 神奈川支部 給付の状況(月別)



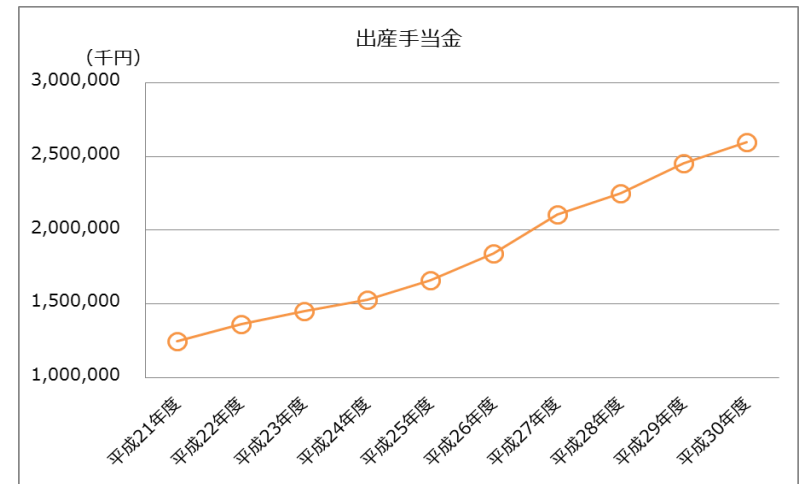
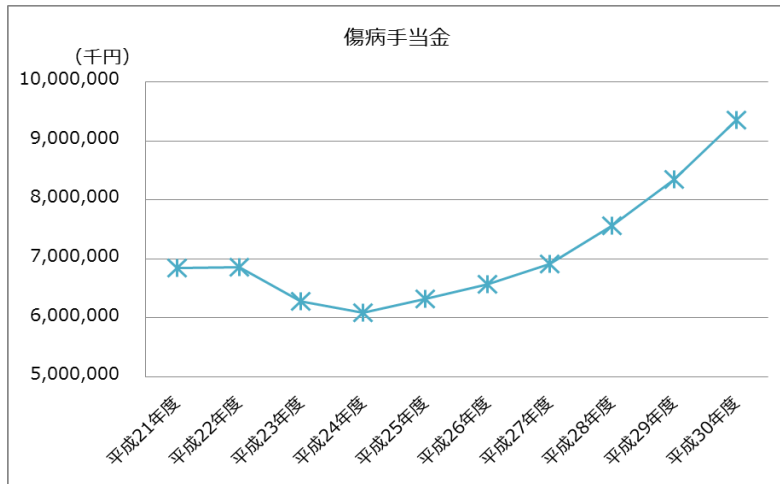
# 神奈川支部 給付の状況(月別)



# 神奈川支部 給付の状況(年度別)



# 神奈川支部 給付の状況(年度別)



123-4567  
東京都港区港南2-16-2

ジャスト 太郎 様

通知番号：999999

100000001#

## 全国健康保険協会 神奈川支部

240-8515  
神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134  
横浜ビジネスパークイーストタワー2階

お問合せ先 0120-289-023

## ジェネリック医薬品 に関するお知らせ

## \*「ジェネリック医薬品」てなに？\*

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許期間の満了により、他の製薬会社でも製造・販売できるようになったため、安く提供されるお薬のことです。国による厳しい審査を受けて承認されているので、**効き目も安全性も先発医薬品と同じ**です。



先発医薬品

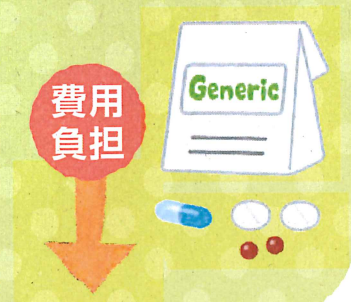
ジェネリック医薬品

効能・効果や用法・用量は基本的には変わりません。

## \* お住まいの地域では、「子ども医療費助成」の対象が小学校6年生までの可能性があります！ \*

中学生のお子様については、お住まいの地域では**既に助成の対象外**となっている**可能性**があります。助成の対象ではなくなっている場合、**ジェネリック医薬品に切り替えることで、お薬の費用負担を軽減することができる**かもしれません。

➤ 助成の対象外かどうかについては、お住まいの住所地の市町村にお問い合わせください。



≡ ご質問・ご相談はサポートセンターへお問い合わせください。



0120-289-023 (通話無料)

受付時間

9:00～17:00

開設期間

令和元年11月29日まで

全国健康保険協会 神奈川支部  
協会けんぽ

今後「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」が不要の方は、お手数ですがサポートセンターまでご連絡ください。



# お薬代負担軽減のご案内

平成31年2月～4月に

様に処方されたお薬を、

ジェネリック医薬品に切り替えた場合、**4,506円** 程度安くなる見込みがあります。

受診された月の負担割合で計算しています。

処方されたお薬 (先発薬) とお薬代		ジェネリック医薬品に変えると	
シングレアチュアブル錠5mg	3,774円	1,332円	2,442円軽減
ナゾネックス点鼻液50μg 56噴霧用 5mg10g	1,611円	672円	939円軽減
アレロックOD錠5 5mg	1,998円	1,110円	888円軽減
ロキソニンパップ100mg 10cm×14cm	363円	207円	156円軽減
その他	204円	123円	81円軽減
<b>合計</b>	<b>7,950円</b>	<b>3,444円</b>	<b>4,506円軽減</b>

※最大5種類のお薬 (先発薬) を記載しております。  
この通知は厚生労働省が提供する医薬品マスターにより作成しています。

ジェネリック医薬品に切り替えるかどうかは、  
かかりつけの医師または薬剤師と十分にご相談  
いただいたうえで、どちらにするか決めましょう。

まずはお気軽に  
ご相談ください。



## ❗ ご注意ください

※この明細には、お薬の金額のみ記載しています。実際の医療機関・薬局への支払額には、診療や薬の調剤等に要する費用が含まれています。

※医療機関や薬局の窓口で支払った金額は端数処理がされていますので、上記金額とは相違する場合があります。

※この明細にはジェネリック医薬品に切り替えることで自己負担が軽減できるお薬のみ記載しております。既にジェネリック医薬品に切り替えていただいている場合や、ジェネリック医薬品に切り替えても自己負担が軽減できない可能性がある医薬品などは記載していません。全てのお薬を記載しているわけではありませんので、処方歴の確認などにはご使用いただけません。

※ジェネリック医薬品は1つの先発医薬品に対して複数存在する場合がありますため、実際の軽減額にも幅がありますので目安としてご参考になしてください。

※本明細は、医療機関・薬局から請求のあったデータに基づいて作成しています。医療機関・薬局からの請求が遅れた場合は表記の期間内の受診であっても、本明細には記載していません。

※上記に記載する医薬品には、がんその他特殊疾病に使用されるお薬・短期処方のお薬については除外しています。



123-4567  
東京都港区港南2-16-2

ジャスト 太郎 様

通知番号：999999

100000001#

## 全国健康保険協会 神奈川支部

240-8515  
神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134  
横浜ビジネスパークイーストタワー2階

お問合せ先 0120-289-023

## ジェネリック医薬品 に関するお知らせ

## \*「ジェネリック医薬品」てなに？\*

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許期間の満了により、他の製薬会社でも製造・販売できるようになったため、安く提供されるお薬のことです。国による厳しい審査を受けて承認されているので、**効き目も安全性も先発医薬品と同じ**です。



効能・効果や用法・用量は  
基本的には変わりません。

## \*「飲みやすく工夫」されています！\*

処方薬を飲みやすさで選んでみませんか？ジェネリック医薬品には、さまざまな工夫でより飲みやすくされているものがあります。**最新技術で薬をもっと飲みやすく**したり、**薬の形状やパッケージをより扱いやすくする**など、患者さんの意見を取り入れた工夫がされています。



大きくて飲みづらい錠剤を  
小さくして飲みやすく工夫



カプセル剤を飲みやすい錠剤に  
変更したり、さらには、ゼリー状や  
液状にして飲みやすく工夫



苦みの強い薬の味を、苦みを  
抑えた味にして飲みやすく工夫

お問合せは相談窓口へ

通話  
無料

0120-289-023

開設期間：令和元年11月29日まで (土日祝を除く9:00～17:00)

# ジェネリックを賢く使用しよう!!



ジェネリック医薬品を使用  
して薬の苦手意識を克服  
大作戦!!

ジェネリック医薬品は  
同じ効果のある薬でも  
小さく飲みやすくなったり  
シロップになって甘くなったりと  
薬の苦手な子供でも飲みやすく  
改良されているものがあるんだ



そしてジェネリック医薬品を飲んでみた……



※ジェネリック医薬品を希望される方は、医師や薬剤師にご相談ください。